

# 平成26年度第2回豊明市スポーツ推進計画審議会

日 時 平成27年3月9日(月) 午後2時00分から

場 所 豊明市役所 教育委員会室

出席者 石川 恭会長、山田 勇二副会長、緒方 誠子委員、櫻井 鍾委員、  
相羽 雅敏委員、八塚 敦子委員、鈴木 紳也委員、佐藤 浩一委員、  
加藤 賢司委員

欠席者 寺倉 紀子委員

事務局 樋口生涯学習課長、馬場生涯学習課長補佐、高垣スポーツ担当係長  
安藤スポーツ担当

その他 今枝福祉体育館長（シンコースポーツ株式会社）

1. 会長挨拶（石川 恭会長）
2. 資料確認（馬場課長補佐）
3. 議題

## （1）豊明市スポーツ推進計画の進捗について

重点施策及び26年度に実施された施策について事務局（安藤）より、別紙資料記載内容の詳細について口頭説明。

### ○ 重点施策

- ・ ICTの活用
- ・ 豊明市総合型地域スポーツクラブ（仮称）の設立
- ・ スポーツ施設の新設と改修の検討
- ・ コミュニティ施設の開放と支援

### ○ 26年度に実施された事業について

- ・ コーディネーショントレーニング教室の実施
- ・ トップアスリートによるスポーツクリニックの実施
- ・ スポーツ人材バンク（仮称）の設立
- ・ ウォーキング推進グループ会合の開催

(2) 平成26年度福祉体育館利用実績報告

指定管理者であるシンコースポーツ株式会社の今枝福祉体育館長より、別紙該当資料の詳細説明。

～質疑応答～

相羽委員：利用実績について利用人数ではなく、アリーナやグラウンドなどは利用件数や団体数で表記をした方が比較をしやすいのではないかと。

⇒今枝館長：今後の参考とさせていただきます。

櫻井委員：施設の安全性の確保については、予算の有る無しの関わらず、採算等は度外視で、利用者が安全に施設を利用できるように心掛けて欲しい。

⇒事務局（樋口）：基本的に最優先されるのは安全面ですが、他の施設でも老朽化が進んでおり、危険度の高いものから優先的に予算が割り当てられています。

ただし、その間に劣化等が進んで緊急性が高くなった物については予算の枠を超えて対応することもあるので、普段皆さんが利用される中で本当に危ないと思われるものについては随時報告をお願いします。

鈴木委員：小学校の陸上大会についてですが、こちらを開催しています豊明市教育研究会が来年度より旧愛知郡の枠組みに戻って合同で活動しようという方向性になっていまして、それによって陸上大会の開催が難しくなると思われます。ですが、教員としてはこの大会の意義や重要性をしっかり認識しており、どうにか開催する方法がないかと検討しているという状況に現在あります。

⇒加藤委員：ただ今初めてお聞きした話ですので、この場ですぐに教育委員会としてどのように対応するかというのはお伝えできませんが、持ち帰りまして今後の動向を見つつ、必要であれば教育委員会とし

でも何かしらの対応をしたいと思います。

緒方委員：小学生の陸上大会が豊明市単独での開催が難しくなるとのことでしたが、その旧愛知郡で合併した研究会での開催は難しいのでしょうか。

⇒鈴木委員：豊明市がまだ豊明町だった頃には愛知郡の教育研究会として長久手に各市町が集って陸上競技会を行っていたのですが、各市町が独自に教育研究会を行うようになってからは、それに伴って陸上競技会も各市町単位で行うようになりました。

現状を見ますと、近隣の各市町で陸上競技会を今も行っているのが豊明市だけという状況になっていまして、再度合併をした時に愛知郡規模での陸上競技会を復活させるというのは、体制や予算の面からかなり難しいのではないかと思います。

八塚委員：スポーツ推進委員として各種行事の企画運営に携わる中で、今の紙媒体や市のホームページのみでの広報体制では、なかなか多くの人に行事のことをお知らせすることが難しいと感じています。

もっと手軽で身近なメディアとして計画の中にもありますICTの活用について力を入れて欲しいと思います。

### (3) その他

事務局（高垣）より、27年度の審議会開催時期については、27年8月～9月頃としたい旨の発議。⇒承認される。